

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 安寿	代表者	深尾 安彦	法人・事業所の特徴	基本理念である「自然の恵みを受けてありのままに」を基に日頃より家庭的な明るい雰囲気大切にしながら住み慣れた地域で生活できるように支援をしています。個々のニーズに応じたサービスを提供出来るように医療機関との連携ならびに24時間の看護体制を整え、終末期ケアや看取りケアを行い最期までその人らしく暮らしていける様に支援しています。また、機能維持向上に向け理学療法士による機能訓練や毎月、外出支援を行い、施設内のみでの閉塞的な生活だけでなく戸外への気分転換に色々な場所に訪れる事にも力を入れています。
事業所名	小規模多機能ホーム 夢咲小町	管理者	深尾 尚希		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	書面での意見	合計
	1人		2人		3人			3人	15人	24人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	アンケートの結果も含め面談をおこないます。また、研修を通じてアンケートの内容は業務に関する事項であるという再認識を施していきます。	医療・介護・認知症・防災に関する事等、毎月のカンファレンスにて施設内研修を行いました。個人の意見を聞き、直接的な介護以外の業務分担を再検討しました。	入居者のことをよく考え、スタッフ間で話し合いがもたれ安心できます。より良い施設にしていこうという姿勢がうかがえました。問題点がはっきりしており、少ないスタッフの中で負担にならないよう進めていけたらいいと思います。	記録、報告の仕方を経過から結果まで行うように意識していく。受ける方も聞くだけでなく、内容の確認を行いながら理解するように努める。
B. 事業所と利用者・家族とのかかわり	利用者一人一人の思いを共有し、サービスに活用できるように「気づきノート」をつくり、普段の会話から得られる情報を記録、共有していきます。事業所との連絡手段としてスマートフォン(SNS)の運用を予定します。	スマートフォンの導入にてSNSを活用した連絡をご利用者家族のみでなく職員同士の連絡にも活用でき業務の改善につながりました。	必要なことはすぐに連絡をいただければ安心しています。メールでのやり取りが可能となって助かっています。必要な時は画像も添付して頂ければよりイメージできます。	年を重ねるごとに行えることが少なくなっていく中でも、利用者本人を知り、認知症状の経過を理解し、利用者の意欲を低下させないように関わられるようコミュニケーション技術・知識の再構築を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	引続き、地域行事、イベント等に参加していき地域活動に貢献していく。	小規模連絡会、地域ケア会議等への参加にて地域との交流を行っていただきました。地域文化祭にて作品展示をさせていただき、広く広報できたかと思えます。	包括が主催する会議に参加いただいています。今後も会議等で色々な意見等をいただけるとありがたいです。	引続き、地域行事、イベント等に参加していき地域住民との交流や地域活動に貢献していく。